

B510 簡易操作ガイド

- ・この時計はソーラーパワーウォッチです。文字板を光に当てて、十分に充電された状態でお使いください。
- ・充電時間/仕様/操作の詳細は、取扱説明書をご参照ください。  B510取扱説明書

各部の名称



充電について

この時計は、文字板の下に配置されたソーラーセルによる発電機能に加え、携帯中の「時計の動き」による自動巻発電機能を搭載しています。

A. ソーラーセル面に光りを当てて充電する方法

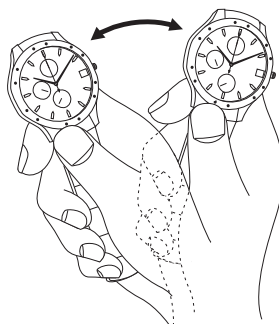
- ・文字板に直射日光や蛍光灯などの光を当てて充電してください。
- ・時計を外したら、太陽光の当たる窓際などの明るい場所に置き、こまめに充電してください。
- ・過充電防止機能が付加されているため、どんなに充電しても過充電により時計にダメージを与えることはありません。

B. 手振りによる充電方法

<時計の振り方(手振り)>

約20cm～25cm位の距離を1秒間に2～2.5往復程度の早さで振ってください。

- ・時計が止まった状態では300～500回(往復)以上振ってください。
- ・時計を振るスピードが極端に早すぎたり、逆に遅すぎたりすると効率の良い充電はできません。
- ・光に当てる機会が少ない場合は、手振りによる充電を合わせて行ってください。



時刻を合わせる

1. 秒針が0秒を指しているときに、りゅうずの位置を②にする
秒針が止まります。
2. りゅうずを回して、時刻を合わせる
・日表示が切り替わったときが午前0時です。午前午後を間違えないよう注意します。
・4～5分進めてから正しい時刻に戻すように合わせると、より正確に合わせられます。
3. 時報に合わせて、りゅうずの位置を①にする
秒針が動きはじめます。

日表示を合わせる

- ・時計が午後9時～午前1時を示しているときは、日表示合わせをさせていただきます。日表示が切り替わらなくなる場合があります。
- ・この時計は31日制です。3月、5月、7月、10月、12月の各1日には、日表示の修正が必要です。

1. りゅうずの位置を①にする
2. りゅうずを左に回して、日表示を合わせる
3. りゅうずの位置を②にする

クロノグラフを使う

0.2秒(1/5秒)単位で最大59分59秒まで計測表示します。

60分計測終了後は、リセット表示に戻り停止します。

- ・クロノグラフをリセットしたときにクロノ秒が0秒位置に戻らない場合は、「クロノ秒針の0位置合わせ」を参照してクロノ秒針の針位置を修正してください。
- ・充電量が「ほとんどない」ときは、使用できません。

1. りゅうずの位置を②にする
2. ①ボタンを押す
・①ボタンを押す毎にスタート/ストップします。
3. ②ボタンを押す
・リセット表示に戻ります。
・クロノグラフ計測中でも②ボタンを押すと、リセット表示に戻ります。計測中に誤って②ボタンを押さないように注意してください。

クロノ秒針の0位置を合わせる

二次電池交換後や時計に強い衝撃などが加わると、まれにクロノ秒針の0位置がずれてしまう場合があります。

クロノグラフをリセットしたときにクロノ秒針が0秒位置に戻らない場合には、次の手順で針の位置を修正してください。

1. りゅうずの位置を②にする

2. ④ボタンを押して、クロノ秒針を修正する

- ・④ボタンを押す毎にクロノ秒針が時計回りで0.2秒(1/5秒)ずつ修正できます。(ボタンを押し続けると早送りできます。)

3. りゅうずの位置を①にする

4. ⑤ボタンを押してクロノ分針とクロノ秒針が0秒位置に戻ることを確認する

- ・クロノ秒修正中にクロノ分も一緒に動きますが、⑤ボタンを押すとクロノ分は0位置に戻ります。
- ・0位置合わせが終了した後は、必ず時刻を合わせ直してください。

タキメータを使う(タキメータ付きの場合)

タキメータの説明は、サポートの「外装機能」をご参照ください。

<http://citizen.jp/cs/guide/gaiso/index.html>